



無断転写転載は法律で禁じられています。

Love & Friendship

(アイルランド、蘭、仏、米、96分、12月29日公開)



あらすじ

18世紀の英国、若くして良人を亡くした美しいSusan Vernon (Kate Beckinsale) 婦人は自分にまつわる不貞な噂から距離を置くべく親戚の屋敷を訪ねる。これからの生活を思案するSusanは3人の男性、年下の魅力的なReginald、金持ちだが単純なSir James Martin、そして既婚者のLord Manwaringと親交を深めていくが、そこへ娘のFredirice Jesusもあらわれ…。



題名で推察できるとおり、土台はJane Austen (1775-1817) の小説で、逝去およそ50年後に原稿を発見した甥が「Lady Susan」と名づけた。

まずはJane Austenの作品にこんな女性もいたのかと驚きである!

Lady SusanはこれまでのJane Austenの描く女性と一線を画す。淑女たれと強いる18世紀の社会の波に揉まれながらも自立した数々の主人公たちを優に超え、受身に甘んずることなく自分の魅力と知性を活かし先手を打って旨く策を講じる、しかも善後策まで。物語がどんな鞘に収まるのかお仕舞いまで愉しめる。そして映画の出来栄えにも目を見張らせられる。脚本も担当したWhit Stillman監督の見せ方と俳優の名演技で、つい古臭くなりがちな題材なのにちっとも飽きさせないのだ。小説はもともと書簡形式だったので、これも映像に巧く取り入れている。

さらに会話も素晴らしい。選び抜かれた言葉と、その意図を伝える抑揚などに学ぶこと多し。もし日本語でこんな言葉遣いできたら申し分なし、である。

ついで衣装と装飾品も見もの。単に美しいだけではなく登場人物の身分や性格をしっかり表現していて、おまけに執事や召使いの服装や行動の演出も妙を得ていて、表情までつい目で追ってしまう。

色々なことの起きた世間を一時でも忘れさせてくれる乙な1本です。

と、今回はここまで。次回作もお楽しみに。

